

麒麟ビール 2017年8月販売概況レポート

■8月の販売概況

カテゴリー	前年比
ビール類計	93%
ビール計	96%
発泡酒計	92%
新ジャンル計	90%
RTD計	114%

【ビール類】

- ・ ビール類は、東日本への台風上陸や長雨、西日本の酷暑日連続記録など天候不順の影響を大きく受け、市場同様にマイナスとなった。
- ・ 「一番搾り」は、リニューアル効果により8月下旬の家庭向けの缶が約5割増と大幅に伸長、月間でも+4%となった。本格リニューアル開始となる9月月間を通して、売り場やTVCMなどあらゆる接点において、「おいしくなった一番搾り」を訴求していく。

【RTD】

- ・ RTD計は、「氷結」や「本搾り」がけん引し、市場を上回る2桁プラスとなった。
- ・ 好調な「旅する氷結」は、6月に上方修正した目標の130万ケースを達成し、当初目標の2.5倍となる170万ケースに再上方修正した。

【ノンアルコールビールテイスト飲料】

- ・ 4月に発売した「零 ICHI」は、8月末時点で7月に上方修正した目標の6割超となる134万ケースを販売。
- ・ 市場全体も、「零 ICHI」が発売した4月以降5ヵ月連続でプラスを維持した模様。

以 上